

理工学部 電気電子工学科

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
美馬 一博	MIMA Kazuhiro	教授	電気通信大学 電気通信学研究科 機械制御工学専攻 博士後期課程単位取得退学	博士（工学） （電気通信大学）	日本ロボット学会、日本機械学会、計測自動制御学会	メカトロニクス、ロボティクス	メカトロニクス、ロボティクス	・特許6528613, 美馬一博, トヨタ自動車, “モータ装置”, 2019年 ・特許5617515, 小堀訓成, 中山貴裕, 美馬一博ほか, トヨタ自動車, “距離計測装置、距離計測方法、及びプログラム”, 2014年 ・特許4788722, 朝原佳昭, 美馬一博, 藪下英典, トヨタ自動車, “自律移動ロボット、自己位置推定方法、環境地図の生成方法、環境地図の生成装置、及び環境地図のデータ構造”, 2011年.
小澤 哲夫	OZAWA Tetsuo	教授	静岡大学大学院 電子科学研究科 博士課程修了	博士（工学） （静岡大学）	応用物理学会、電子情報通信学会	半導体工学、電子材料、熱流体解析	半導体工学、結晶材料	・動的環境下および微小重力下における半導体材料開発と熱流体数値解析の研究 ・太陽光発電システムの研究 ・窒素プラズマを用いた窒化物半導体育成技術の開発と成長課程の数値解析
土肥 稔	DOHI Minoru	教授	名古屋大学大学院 理学研究科 後期博士課程修了	博士（理学） （名古屋大学）	電気化学会	物性物理、半導体材料、固体光物性	レドックスフロー電池、蛍光体薄膜、微結晶半導体の物性	・バナジウムレドックスフロー電池の双極板劣化に関する研究 ・パルス放電法を用いた蛍光体薄膜の研究 ・希土類元素を含む蛍光体を用いたレーザー用薄膜の研究
石田 隆弘	ISHIDA Takahiro	教授	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 博士後期課程満期退学 総合エネルギー工学	博士（工学） （豊橋技術科学大学）	電気学会	高電圧工学	高電圧工学	・絶縁材料の劣化現象の研究 ・高電圧を応用した医療機器の開発 ・電界紡糸技術の開発 ・耐部分放電性絶縁材料の開発
村上 裕二	MURAKAMI Yuji	教授	東京大学 工学系研究科 化学生命工学専攻 博士課程修了	博士（工学） （東京大学）	電気学会、化学とマイクロ・ナノシステム学会、日本化学会	バイオセンサ、マイクロ流体	センサ工学、マイクロ化学	・平成30年電気学会全国大会発表「アクリル製平板型腸音センサの製作と評価」 ・第35回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム発表「新規非接触腸音センサの開発」
服部 知美	HATTORI Satomi	教授	三重大学大学院 工学研究科 博士後期課程修了 電気電子工学専攻	博士（工学） （三重大学）	電気学会、計測自動制御学会、パワーエレクトロニクス研究会	パワーエレクトロニクス	パワーエレクトロニクス	・1999年 電気学会 優秀論文発表賞 ・2002年 計測自動制御学会 論文賞 ・2011年 電気学会 第14回優秀技術活動賞 技術報告賞 ・2017年 第3回永守賞

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
本井 幸介	MOTOI Kosuke	教授	金沢大学大学院 自然科学研究科 システム創成科学専攻 博士後期課程修了	博士（工学） （金沢大学）	日本生体医工学会、 IEEE Engineering in Medicine & Biology Society	生体医工学、福祉工学、 リハビリテーション科学、 健康科学、機械工学、 電気・電子工学、情報工学	家庭調度内蔵型ヘルスケア モニタシステムの研究、 ウェアラブル姿勢・活動計測 システムの研究、先進生体計測 融合による医療・福祉・スポ ーツ支援システムの開発とその 臨床応用研究	<論文> ①佐川貢一, 福川亮, 本井幸介, 木 立るり子: 二重課題歩行特性と 副次課題成績を組み入れたワー キングメモリモデルによる健常 高齢者の転倒経験の識別, 人間 工学, 第50巻, 第6号, 342-349 頁, 2014年. ②谷口早弥香, 本井幸介, 東祐 二, 藤元登四郎, 山越 憲一: ウ ェアラブル姿勢変化・歩行解析 システムによる在宅移行期の脳 血管障害者の定量的身体活動評 価－Life-Space Assessmentによ る活動範囲評価との同時比較検 討－, 保健医療学雑誌, 第5巻, 第1号, 1-14
本良 瑞樹	MOTOYOSHI Mizuki	教授	東京大学大学院 工学系研究科 後期博士課程修了	博士（工学） （東京大学）	電子情報通信学会、IEEE	集積回路工学、無線通信 工学	ミリ波・短ミリ波無線通信 用集積回路、無線IoTデ バイス/システム、体内 無線通信デバイス/システ ム	・60GHz帯低消費電力発振器/ 周波数分周器/PLLの研究開発 ・超100GHz帯高速無線通信 用トランシーバICの研究開発 ・無線IoT用60GHz帯サブmW 極低消費電力ASK送信機の研究 開発 ・GHz帯広帯域Digital RF受 信機の研究開発
中田 篤史	NAKATA Atsushi	准教授	愛知工業大学大学院 工学研究科 後期博士課程修了 電気・材料工学	博士（工学） （愛知工業大学）	電気学会	半導体電力変換	電力・エネルギー制御、 半導体電力変換、パワー デバイス応用	・誘導加熱インバータの開発 ・直列形電圧補償装置の開発 ・つくばエクスプレス用PWM 整流器の開発
武岡 成人	TAKEOKA Shigeto	准教授	早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 博士課程修了 メディア情報学	博士（国際情報通 信学） （早稲田大学）	音響学会、電子情報通信 学会	音響工学	音響工学	武岡 成人 "アレイ制御を用いた 指向性可変なパラメトリックス ピーカ" 信学技報 112(76), 31- 36, 2012 Shigeto Takeoka, Yosh io Yamasaki, "Acoustic Projector Using Directivity Controllable Parametric Loudspeaker Array, Proc. ICA 2010, 921, Aug., 2010.

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
青山 真大	AOYAMA Masahiro	准教授	静岡大学創造科学技術大学院 自然科学系教育部 環境・エネルギーシステム 専攻 博士課程修了	博士（工学） （静岡大学）	IEEE、電気学会	モータ、パワーエレクトロニクス、誘導加熱、電磁アクチュエータ	各種モータハードおよびその制御、産業用・家電民生用誘導加熱、電磁力による導電性液体移送、多入力・多出力電力変換器	<主な査読付学術論文> 1. 青山・熊井：「三相空芯回転トランス式キャリア共振結合形受動可変界磁モータ」，電気学会論文誌D，Vol. 142, No. 9, pp. 666-679 (2022) 2. M. Aoyama, T. Kumai, "Adjustable Speed Drive Capability of Self-Excited Wound-Field Synchronous Motor Utilizing Space Harmonics with 500W Class Prototype," IEEE Trans. on Energy Conversion, Vol. 37, No. 2, pp. 855-867 (2022). <主な書籍> 「次世代EV/HEV用モータの高出力化と関連材料の開発」，分担執筆（第1章第7節），（株）技術情報協会（2022年1月発行） <主な受賞> 第35回高柳研究奨励賞，2021年 第14回わかしゃち奨励賞応用研究部門（最優秀賞），2020年
Mars Kamel	Mars Kamel	准教授	静岡大学創造科学技術大学院 自然科学系教育部 ナノビジョン工学専攻 博士課程修了	博士（工学） （静岡大学）	IEEE、IEEE Circuits and Systems Society、映像情報メディア学会、電子情報通信学会、Society for Imaging Science and Technology、Journal of Electronic Imaging、IEEE Electron Devices Society	半導体デバイス、CMOSイメージセンサ、集積回路、LSI設計	先端半導体デバイス開発。光学と高性能・高機能イメージセンサを融合したイメージングシステムに関する研究。	・ R. Miyazawa, Y. Shirakawa, K. Mars , K. Yasutomi, K. Kagawa, S. Aoyama, S. Kawahito. "A Time-of-Flight Image Sensor Using 8-Tap P-N Junction Demodulator Pixels". Sensors, vol.23, Issue8, pp. 3987 (1-18) , 2023 ・ S. Kawahito, K. Yasutomi and K. Mars , "Hybrid Time-of-Flight Image Sensors for Middle-Range Outdoor Applications", IEEE OJSSCS, vol. 2, pp. 38-49, 2022., ・ 2023 International Image Sensor Workshop国際大会発表「A 648 x 484-Pixel 4-Tap Hybrid Time-of-Flight Image Sensor with 8 and 12 Phase Demodulation for Long-Range Indoor and Outdoor Operations. ・ Electronic Imaging 大会発表. ・ The 19th Takayanagi Kenjiro Memorial Symposiumで「The Best Presentation Award For Young Researchers」を受賞しました。